

- 歩行者中心の街路を目指した街路空間の再構築や、官民連携による沿道や地域と一体となった街路空間の利活用等について、自治体及び街路交通施設課等による情報交換、課題や推進方策の研究を行うとともに、自治体間の情報共有を図ることを目的に、平成29年7月に勉強会を設置。
- 平成29年度は、各事例が実現に至るまでのプロセスや成功の要因等について議論し、得られた知見を事例集としてとりまとめ。街路交通施設課HPで公開。 [http://www.mlit.go.jp/toshi/toshi\\_gairo\\_tk\\_000081.html](http://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_gairo_tk_000081.html)

## 参加自治体と事例

## 事例から得た11のノウハウ

		街路の類型	
		幹線道路・シンボルロードレベル	補助幹線・区内交通レベル
再整備 新規整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 仙台市：青葉通再整備事業</li> <li>■ 京都市：四条通歩道拡幅事業</li> <li>■ 大阪市：御堂筋空間再編</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 松山市：歩いて楽しい健康増進まちづくり事業</li> </ul>
	取組の類型 利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 仙台市：定禅寺通活性化推進事業</li> <li>■ 静岡市：静岡清水都心地区魅力空間創出事業</li> <li>■ 大阪市：なんば駅周辺道路空間の再編</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 岡崎市：乙川リバーフロント地区整備事業</li> <li>■ 神戸市：都心三宮の再整備</li> <li>■ 北九州市：魚町サンロード商店街、カルチェラタン計画</li> </ul>

- ① **実験的に空間をつくって、体験してもらおう**
- ② **小さく始めて、大きく育てよう**
- ③ **地域のシンボルを合意形成に活かそう**
- ④ **やりたいことを上位・関連計画に埋め込もう**
- ⑤ **民間の動きに行政が呼応しよう**
- ⑥ **官民協働の体制でビジョンを描き、共感しよう**
- ⑦ **横断チームや連絡会議で庁内に横串を通そう**
- ⑧ **地元と一体の体制をつくって関係機関と協議しよう**
- ⑨ **各分野の専門家とタッグを組もう**
- ⑩ **パブリックマインドを持つ民間に任せよう**
- ⑪ **積極的に視察や研修に学び、提案しよう**

**事例① (再構築) 大阪府大阪市 国道25号 (御堂筋) (1/2)**

「御堂筋の道路空間再編に向けたモデル整備」



【取組データ】

- 事業主体：大阪府
- 実施年度：平成26年(第1期)
- 路線延長：4.4km(6車線)
- 歩道延長：約200m
- 取組期間：平成27年～平成28年

【取組推進に寄与した最大の要因】

- 町会・商店会、地元まちづくり団体等からなる「御堂筋沿道・千日前通以南モデル整備区間整備協議会」の設立

【取組概要】

- ① 御堂筋の再編部分を活用し、自転車通行空間を確保するとともに歩道を拡張
- ② 歩行者と自転車が歩道内で共存できる状況の確保
- ③ 御堂筋全体の道路空間再編のイメージを現地で見学
- ④ 歩行者・自転車通行の安全性や快適性等の道路空間のあり方の検証

**事例② (再構築) 京都府京都市 四条通 (1/2)**

「人と公共交通優先の歩いて楽しい四条通」歩道拡幅事業」



【取組データ】

- 事業主体：京都市
- 実施年度：平成26年
- 路線延長：220m(4車線+2車線)
- 歩道延長：11.250m
- 取組期間：平成18年～平成27年

【取組推進に寄与した最大の要因】

- 地元からの要望
- 京都市における位置付けの明確化と体制強化
- 関係者との緊密な意見交換・合意形成

【取組概要】

- ① 用地買収を行わずに道路空間を再構築して、歩道を拡幅(3.5m→4.5m)
- ② 道路空間を交通拠点(ターミナル)として考え、路線バスと歩道の乗換利便性を、沿道商業施設へのアクセス機能および災害時の避難誘導施設(バス停の集約)0箇所→4箇所、タクシー乗降場の設置2箇所)